

主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
高齢者の人口	住民基本台帳人口（市民課）※翌年度4月1日時点	45,411	46,162	46,689	人	—
生きがいを感じる高齢者の割合	「生きがいをもって元気に暮らしていると思いますか」における「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の割合（まちづくり達成度アンケート）	82.8	78.8	79.0	%	↑
要介護・要支援認定率	65歳以上の要介護・要支援認定者数／第1号被保険者数（65歳以上）×100（介護支援課）※翌年度4月1日時点	16.7	17.2	17.9	%	↓

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<p>（主な取組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が住み慣れた地域で元気に生き生きと暮らし続けるよう、生活支援や介護予防に取り組みました。 高齢者施設での感染予防対策について周知するとともに、新型コロナウイルス感染症の陽性者が判明した場合の初動対応の徹底を図り高齢者施設における感染を最小限にとどめることができるように努めました。 <p>（評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染予防を徹底し、集いの場や体操グループ等の継続支援を行いました。 地域包括支援センターや在宅医療連携推進等の会議ではオンラインを活用し連携を図りました。 <p>（改善点）</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策を継続し、生活支援や介護予防の取り組みを行います。 	<p>（現状と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者人口、要介護・要支援認定者率が増加しています。 コロナ禍での高齢者の相談・対応体制の充実、介護予防の取り組みが必要と捉えています。 <p>（主な取組み内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を開始し、関係各課と連携を図り更なる介護予防に取り組みます。 権利擁護促進のため中核機関を設置し、成年後見制度の利用促進を図ります。 高齢者施設等の感染予防対策、感染拡大防止対策の徹底を図るとともに、新型コロナウイルスワクチンの迅速な接種に努めます。

多様な生きがいづくり 主管課：高齢者支援課 関連課：健康増進課

高齢者ふれあいの家支援事業	市内の空家等を利用し、閉じこもりがちな高齢者が自由に集まり、地域の子どもたちを含めた高齢者との交流や健康づくり、趣味活動ができる場所を提供していただける個人・団体等を支援します。								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	継続	5,923			4,084	7,013	5,946	0	5,946
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
年間開催総数(回)	5,290	2,561	2,600	年間利用者総数(人)			69,331	29,622	30,000
市内設置場所(か所)	25	25	27						
令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み								
<p>（取組内容）</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、開設者に集いの場の運営にあたって注意事項等の情報提供及び個々の状況に応じた相談対応に努めたほか、非接触型体温計の貸与、マスク・アルコール消毒の配付をしました。</p> <p>（評価）</p> <p>ふれあいの家2か所が活動を終了したが、新たな開設希望により令和2年度内に2か所を決定し、令和3年4月からは2か所開設することとなりました。引き続きふれあいの家の増設に努めてまいります。</p> <p>（改善点）</p> <p>毎年、開設者間の交流及び情報共有の場として、開催していた連絡会議をR2年度は中止したため、R3年度は開催可能な方法を検討していきます。</p>	<p>（現状と課題）</p> <p>コロナ禍においてもふれあいの家が安全に開催できるよう、開設者への支援に努めてまいります。</p> <p>（取組）</p> <p>新規開設を促進するため、関心の高い団体へ働きかけるとともに、開設場所の候補となる空き家情報の提供に努めます。また、特定のテーマに絞った意見交換会開催を開催し、参加者にとって、有意義となるよう参加者間の交流・連携が促進されるように機会を提供します。なお、テーマの一つに「多世代交流」を掲げており、ふれあいの家における世代と文化を超えた交流の促進に努めます。</p>								

高齢者等市内移動支援バス事業	市内の事業所の協力のもとに送迎バスの空席を活用し、高齢者の活動範囲の拡大を支援することで積極的な社会参加を促進します。								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	継続	891			800	394	403	0	403
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
協力民間事業者数(団体)	5	5	5	利用件数(人)			4,120	60	-
運行ルート数(ルート)	6	6	6	新規利用登録者数(人)			192	74	75
令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み								
<p>（取組内容）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2年度は移動支援バスの運行を中止しました。</p> <p>（評価）</p> <p>コロナ禍においては、事業所の協力を得ることが困難なため、移動支援バスの運行中止はやむを得ないものと考えています。</p> <p>（改善点）</p>	<p>（現状と課題）</p> <p>R3年度当初は引き続き運行を中止しておりますが、新型コロナウイルス感染状況の動向を注視しながら運行再開時期を判断してまいります。</p> <p>（改善点）</p> <p>運行再開が可能となった際には、速やかに準備を整えるとともに市民に周知をします。</p>								

地域ぐるみ見え合い体制づくり 主管課：介護支援課、高齢者支援課 関連課：なし

高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業	高齢者の保健事業（国保データベースから抽出したハイリスク者への専門職の訪問による個別相談・指導）と介護予防事業（専門職による集いの場への積極的な関与）を一体的に行いフレイル（虚弱）の予防を図ることで、要介護状態への進行の予防及び健康寿命の延伸を図ります。								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	新規	0			0	0	11,110	11,110	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
通いの場での健康教育・健康相談の実施回数(回)	-	-	120	通いの場での健康教育・健康相談の参加人数(人)			-	-	1,200
糖尿病性腎症重症化予防プログラムおよび低栄養に関するプログラムの指導回数(回)	-	-	84	糖尿病性腎症重症化予防プログラムおよび低栄養に関するプログラムの実施人数(人)			-	-	18
令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み								
新規事業のため記載なし	<p>（現状と課題）</p> <p>コロナ禍で通いの場の活動が休止している箇所もある中で、現在実施しているグループに対してフレイル予防の重要性や専門職の介入の目的を理解していただきつつ、連携づくりを行い、医療専門職がアウトク場を増加させて、フレイル（虚弱）予防の啓発を多くの高齢者へ展開していくことが課題です。</p> <p>（取組内容）</p> <p>高齢者ふれあいの家、ながいき100歳体操自主グループの活動の場でフレイル予防の健康教育や健康相談を実施します。また、国保データベースから糖尿病性腎症と低栄養のハイリスク者への医療専門職の訪問等による個別相談・指導を行います。</p>								

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



地域ぐるみ支え合い体制づくり 主管課: 介護支援課、高齢者支援課 関連課: なし

在宅高齢者介護予防・生活支援事業	公共交通機関の利用が困難な非課税世帯の単身高齢者を対象に、自宅の玄関から病院等の利用施設まで移動及び乗降の介助を支援します。また、理美容店へ出向くことが困難な高齢者には、訪問による理美容サービスを提供し、移動・出張に要する費用を助成します。								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	継続	11,625			9,591	7,013	9,869	878	8,991
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
訪問理美容サービス提供事業者数(事業者)	18	18	18	訪問理美容サービス利用回数(回)			76	85	90
外出支援サービス提供事業者数(事業者)	6	6	6	外出支援サービス利用回数(回)			4,552	3,690	3,700
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 外出困難な高齢者を対象に、病院への送迎サービスを行う外出支援サービス及び訪問による理美容サービスを提供しました。 (評価) サービスを必要としている高齢者を支援することで、在宅におけるQOLの向上に努めました。 (改善点) サービスを必要とする高齢者が利用しやすいように、丁寧な説明と制度の周知に努めてまいります。					(現状と課題) 令和2年度は新型コロナウイルス感染リスクの影響により利用実績が減少しましたが、高齢者人口の増加に伴い、サービスの対象者も増えていくことが見込まれ、一方では、サービスの存在を知らない高齢者も増えていくことが予想されます。 (取組内容) サービスを必要とする高齢者が利用できるように、丁寧な説明と制度の周知に努めてまいります。				

地域福祉センター整備事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、高齢者及び障害者福祉に関する複合施設である地域福祉センターのエレベーターの改修工事を実施します。令和3年度 改修工事								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	継続	843			770	7,013	28,322	25,300	3,022
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
地域福祉センター整備事業(事業者)	-	-	1						
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 工事を行う前に、エレベータ改修工事に係る設計業務を依頼しました。 (評価) エレベータ改修工事全般に対する計画や内容を把握することで、改修のポイントや工期、それに類する必要な事項を知ることができました。					(現状と課題) 平成14年からご利用いただいている地域福祉センターのエレベータの老朽化に伴い、利用者の安全性を確保するため2か月間~3か月間改修工事を行います。 (取組内容) 改修工事期間中はエレベータが利用できないことから、利用者の利便性及び安全の確保に努め、2階の施設をご利用する身体的に困難な方には簡易昇降機を設置します。				

地域包括支援センター委託事業	介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防するため、心身の状況や環境等に応じ、包括的な援助や福祉の増進を図るための包括的支援事業を実施し、地域住民の健康の維持及び生活の安定のための援助を行う、地域包括支援センターの設置・運営を委託します。								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	継続	144,756			144,756	14,026	144,756	144,756	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
相談件数(件) ※令和元年度より、地区の相談傾向を把握する集計方法に変更	17,884	17,432	17,500	運営状況調査評価指標の点数(全センター平均)(点)			51	52	52
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) コロナ禍でも高齢者なんでも相談室の事業を継続できるように、リモートでの地域ケア会議、運営協議会、ケアマネ交流会や研修会等を開催しました。各相談室の横の繋がりを強化するため、職種ごとの交流会をリモートで開催しました。 (評価) コロナ禍でもリモートでの会議等の工夫をしたことで、相談室の活動を継続し地域の関係者との連携を絶やさず、さらなる効率化を図ることができました。 (改善点) 高齢者人口の増加に伴い、相談件数が増加し、その内容も複雑化・困難化しています。職員は高いスキルが求められ、職員確保や職員の育成、職員の定着が課題となっています。					(現状) 高齢者なんでも相談室の運営については、運営協議会での検討を通じて、適切な職員体制の確保や業務の重点化・効率化を進めています。 (課題) 市民の方からも顔の見える相談室の職員体制を確保と高齢者人口の増加に伴い、複雑化、増加する業務の重点化・効率化が課題です。 (取組内容) 各相談室の強み等をとらえつつ、相談室間の交流、連携、情報共有を図り、各相談室の機能強化と職員のスキルアップに繋げていきます。高齢者支援課に地区担当保健師を配置し、後方支援を行います。				

在宅医療介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
介護支援課	継続	16,932			11,272	15,819	16,187	16,187	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
介護と医療をつむぐ会開催回数(回)	5	5	5	情報共有システムを利用した在宅医療者数(延べ)(人)			34	38	44
出前講座開催回数(回)	3	2	3						
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
【取組内容】医師や介護に係わる専門職の団体代表者による「在宅医療介護連携会議」を5回開催して医療と介護に関する課題解決を図りました。 「介護と医療をつむぐ会」では、これまで集合形式の研修やグループワークを行っていましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、情報共有システムを活用した感染症対策の情報発信や入退院時支援に関わる専門職へのアンケート調査、オンライン上での事例検討や動画配信を行いました。 【評価】在宅医療をコーディネートする体制について、在宅医療が必要となった患者を症状と専門性などを判断して各在宅医師に振り分ける体制の構築に、流山市医師会の在宅医療担当理事と協働し取組みを開始できました。 【改善点】会議にあがった問題点等が解決までに長期間を要することや、事業の規模が大きく、結果が見えにくいことから、進捗の確認をこまめに行う必要があります。					【現状】病院からの入退院時等において、医療機関と在宅・施設サービスの連絡調整を円滑に行える体制づくりを進める必要があります。 在宅医療や介護サービス、相談窓口等に関する市民の理解を深める必要があります。 【課題】流山市医師会の在宅医療担当理事や医療機関等との連携の中で、医療、介護の関係者が協働できる関係性ができ、良質な在宅医療が提供できる体制構築を進めていく必要があります。 市民に対して、在宅医療・在宅介護の知識や制度の普及啓発を行う必要があります。 【取組内容】「在宅医療介護連携会議」を通じて、現状把握や医療・介護連携の課題、対応策の検討を市内の医療介護職団体と協働し行っています。 市内医療・介護職の研修、関係づくりの場である「介護と医療をつむぐ会」は、引き続きアドバンスケアプランニング(人生会議)をテーマに掲げ、専門職のスキルアップや連携体制づくりを目指します。「おうち療養情報紙」の発行や自治会等への出前講座開催を通じて、市民が在宅医療や介護、アドバンスケアプランニング(人生会議)の理解を深めることができるよう、啓発していきます。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



介護体制づくり

主管課: 介護支援課、高齢者支援課

関連課: なし

特別養護老人ホーム整備支援事業		特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向け、高齢者支援計画に基づいて計画的に施設整備を進めます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
介護支援課	継続	0		0	701	0	0	0	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
市内特別養護老人ホームの施設数(施設)		11	12	13	特別養護老人ホーム入所希望待機者数(人)		296	270	200
市内特別養護老人ホームの入所定員数(人)		876	976	1,076					
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 令和3年4月1日開設予定の太陽の里おおたかの森(100床)と令和4年3月増設予定のはまなす苑の整備を進めました。 ・評価 令和2年4月1日に慶櫻美原の森100床(多床室40床、ユニット型個室60床)が開設しました。 ・改善点 特になし					・現状 令和3年4月に太陽の里おおたかの森100床(多床室40床、ユニット型個室60床)が開設予定です。 ・課題 令和3年1月現在の特養入所待機者270名の解消を図ること。 ・取組内容 第8期介護保険事業計画に従い、令和5年度までに170床の新規整備を進めます。				

介護人材確保支援事業		介護人材確保を目的として国、県の介護人材確保対策事業と連携しながら市内の介護保険施設、事業所の就業者の確保を目的とした事業を実施します。また、市単独事業として、介護福祉士の資格を取得して市内の介護施設等に勤務しようとする介護福祉士等の養成施設等の在学者へ就学資金の貸し付けを行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
介護支援課	継続	3,786		1,367	3,507	11,190	11,190	0	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
理解促進講座開催回数(回)		2	1	1	介護職員養成研修助成研修受講助成件数(件)		22	32	45
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
R2年度(取組内容) ・理解促進講座を1回開催しました。 ・介護職員初任者研修、実務者研修、生活援助従事者研修の研修費用等に関する助成についてご案内し、申請者を募集しました。 (評価) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、理解促進講座の開催回数が減少しました。 ・介護職員養成研修受講助成について、申請者が増加しました。 (改善点) ・理解促進講座について、受講者数の減少傾向にあることや、感染症まん延時等における開催方法について、改善を図ることができると考えています。					R3年度(現状) ・介護職員の確保は困難な状況が続いています。(課題) ・市内事業所に就業する介護職員数を増加させます。 ・職員数の増加とともに、サービスの質の向上も目指していきます。 ・潜在的介護職員の掘り起こしを行います。また、現職介護職員の士気高揚を目指します。 (取組内容) ・介護職員養成研修受講助成により、市内事業所における有資格の介護職員数の増加を図ります。 ・介護福祉士修学資金貸付事業により、指定養成施設で修学し、介護福祉士資格の取得を目指す学生に対し、資金の貸付けを実施することで、市内事業所の介護サービスの質の向上を目指します。 ・個別就職相談会によるマッチングや、長期勤務介護職員の表彰等を実施し、介護人材の確保と定着支援を実施します。				

高齢者介護予防普及啓発事業		介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防教室を実施します。また、知識の普及啓発を目指し、パンフレットの作成、配布を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
高齢者支援課	継続	804		469	3,000	1,036	1,036	0	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
講演会開催数(回)		20	29	21	講演会参加延べ人数(人)		619	219	230
					ながいき100歳体操グループ数(グループ)		42	47	60
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容)「ながいき100歳体操」の普及啓発活動として介護予防教室の「筋力アップ教室」を実施しました。また、介護予防教室として「朝活!シニア塾〜ラジオ体操でフレイル予防〜」を実施しました。 (評価)新型コロナウイルス感染症の影響下においても高齢者が介護予防に取り組めるよう、感染症対策に留意し、安全かつ効果的に介護予防教室を運営し、介護予防の知識の普及啓発を実施しました。 (改善点)コロナ禍の影響で通いの場での活動ができない場合もあるため、より多くの方が自宅などでも介護予防に取り組めるように、取組方法の工夫について検討が必要です。					(現状)「ながいき100歳体操」の普及啓発活動として介護予防教室の「筋力アップ教室」等、体験会を実施します。また、認知機能の維持向上を目的とした体操を普及啓発します。 (課題)コロナ禍で通いの場だけではなく、より多くの方が自宅などでも介護予防に取り組めるように、取組方法の工夫をする必要があります。 (取組内容)感染症対策に留意して「筋力アップ教室」を年7コース実施します。また認知機能の維持向上を目的とした「しゃきしゃき100歳体操」の普及啓発を行います。「ながいき100歳体操」に取り組んでいるグループについては、自宅でも介護予防のために体操に取り組めるよう方法を検討します。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



介護体制づくり

主管課：介護支援課、高齢者支援課

関連課：なし

認知症施策推進事業		認知症に関する知識の普及及び啓発を行います。また、認知症の疑いのある方や認知症の方等へ早期に対応できるよう相談支援体制の構築を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
介護支援課	継続	2,805			1,561	10,520	2,165	2,165	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
認知症サポーター養成講座開催数(回)	52	31	40	認知症サポーター養成数(人)			2,764	964	2,500
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
<p>【取組み】認知症の正しい知識の普及啓発を目的に開催している、9月認知症を知る月間において、講演会やVR認知症体験会、認知症サポーター養成講座等を行いました。また、認知症の早期相談・早期発見を目的とした「認知症安心パンフレット」を流山市認知症地域支援推進員が作成し、新聞折込による全戸配布を行いました。毎年発行している「認知症安心ガイドブック」の内容に認知症の方への接し方や若年性認知症に関するページを追加しました。</p> <p>講演会では「認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためにできること」テーマに認知症看護認定看護師の講演や認知症の家族の介護経験の市民に協力いただき看護師との対談を行いました。</p> <p>【評価】講演会等は、広報ながれやまやホームページの他、チラシ、SNS等で周知しましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあってか参加者数が少ない状況です。</p> <p>【改善点】感染症対策を行いつつ、より多くの市民等に認知症の正しい知識や地域における見守りの重要性等を知っていただけるよう、開催方法の工夫(開催場所の選定やZoom利用等)や紙媒体での発信を検討していきます。</p>				<p>【現状】地域において認知症に対する偏見が残っていることがあります。認知症の人や家族が周囲や適切な機関に相談できず、家庭内で抱え込み課題が複雑化しているケースも存在します。</p> <p>【課題】認知症に関する正しい知識を広く市民に周知し、誰にでも関係のある疾患であることの理解を拡げる必要があります。高齢者なんでも相談室や医療機関等の相談できる機関に関する周知が行き届いていない現状があります。</p> <p>【取組内容】9月を「認知症月間」とし、認知症の方が地域で暮らし続けられるよう認知症の正しい知識の普及・啓発のため、感染症対策を講じながら講演会や体験型講座、認知症サポーター養成講座等の開催を行います。</p> <p>紙媒体での啓発として広報等での認知症に関する記事掲載します。また、「認知症安心ガイドブック」について、認知症の人への接し方について加筆し、令和3年5月より介護支援課窓口や高齢者なんでも相談室で配布することで、相談窓口の周知を行い、早期発見、早期相談につなげます。認知症の人や家族と地域、医療介護関係者の橋渡し役となる認知症地域支援推進員の会議において、認知症の人や家族が地域で暮らし続けていく上での課題について、検討していきます。</p>					

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 健康福祉部 施策の目的 障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数	障害者支援課資料 ※上から身体障害者、知的障害者、精神障害者	4,216 1,011 1,332	4,204 1,061 1,444	4,230 1,089 1,556	人	—
障害者就労支援センターの利用者数	障害者支援課資料	207	194	181	人	↑
相談支援事業の利用者数	障害者支援課資料	2,190	2,464	2,529	人	↑

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<p>障害者及び障害児の特性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むために必要な福祉サービスの給付を行いました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、マスク、手袋、消毒液を事業所等へ配布し感染拡大防止を図りました。</p> <p>医療機関等への手話通訳者の派遣について、新型コロナウイルス感染防止のためタブレットを導入し、遠隔により意思疎通支援を図りました。</p>	<p>障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、日常生活用具の給付、意思疎通支援、就労支援など必要なサービスが適正に提供されるよう支援に取り組みます。</p> <p>流山市手話言語の普及の促進に関する条例の普及啓発として、手話通訳者等の育成を図るなど、手話言語への理解と普及を図ります。</p>

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター 関連課：なし

障害者自立支援給付事業	障害者等が自立した日常生活及び社会生活を送るために居宅介護（ホームヘルプ）、施設入所、就労支援、人工透析の費用の支給等、国が定める介護、訓練、補装具、医療の給付を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
障害者支援課	継続	2,277,816		2,271,886	48,094	2,406,036	1,794,624	611,412
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
障害福祉サービス支給決定者数(人)	921	960	1,000	障害福祉サービス利用延べ人数(人)		16,364	17,092	17,500
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<p>障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び補装具、更生医療等を給付することで、障害者や障害児が地域の中で自立した生活を送ることができるよう取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、在宅支援等を含めた感染防止対策を行い、事業の継続を図りました。</p>				<p>感染症対策を継続し、安心してサービス利用ができる体制を築き、障害者本人へ必要なサービスを提供できるよう支給決定を行います。また、感染症対策に関する研修を実施し、感染防止対策の強化と見直しを図るとともに、サービス支給を適正に行うため、サービス等利用計画の精査や支給決定基準の見直しを行います。</p>				

障害者グループホーム等運営費補助事業	小規模なグループホームの運営費の一部を助成し、経営の安定化を図り、入居者の自立と社会参加の促進を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
障害者支援課	継続	18,845		18,845	5,610	18,264	9,131	9,133
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
補助件数(件)	21	31	31	対象施設への入居者数(人)		102	108	112
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<p>市内外において、グループホームを運営する事業者は増加しており、対象となるグループホーム利用者も増加しています。対象施設における対象経費を精査し、適正な補助金の交付を行いました。</p>				<p>グループホーム利用者が増加していますが、同時に障害者本人の状況に応じて退所する利用者も増加しています。国保連からの伝送請求データを基に、入退所の動きをタイムリーに把握し、正確な情報把握を行っています。</p>				

障害児通所支援事業	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを行う民間施設及びつばさ学園に対して、障害児福祉サービスに係る給付を行います。また、すべてのサービス利用者に障害児相談支援を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
障害者支援課	継続	969,592		917,213	36,392	1,116,584	834,041	282,543
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
障害児通所支援支給決定者(人)	626	726	800	障害児通所支援事業所利用者(人)		7,029	7,844	8,000
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<p>新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、サービス利用者は増加しています。感染拡大防止のため、在宅における支援も含めて事業を継続し、サービス提供体制を維持しました。また、事業者の増加もあり、サービス提供体制は拡大されていますが、障害児の特性に応じた支援体制が必要となっています。</p>				<p>感染症対策に関する研修を実施し、感染防止対策の強化と見直しを図るとともに、支援の質の向上を目指し、オンラインによる研修など感染症対策にも応じた研修を実施していきます。また、第2期障害児福祉計画がスタートするため、計画に沿った事業展開を行い、子ども子育て施策とも連携したサービス提供を行います。</p>				

つばさ学園療育相談事業	心身の成長や発達に心配のある乳幼児及び児童に対し、相談、面接、診察、検査などを行い、総合的な相談を通して、社会的な自立と地域生活に向けて支援します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
児童発達支援センター	継続	13,495		11,930	47,617	17,525	15,929	1,596
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
発達相談総件数(件)	1,010	967	901	目標発達相談総件数に対する実際に実施した相談総件数の割合(%)		100	93.8	100
新規発達相談件数(件)	256	229	235	初回面接に係る日数(日)		30.4	41.6	25
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<p>申し込みからインテークに係る日数を減らすために発達相談業務の一部を委託しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により日数短縮には至りませんでした。</p>				<p>インテークに係る日数を減らすために件数を増やして発達相談業務の一部を委託します。講師であった心理士及び言語聴覚士を会計年度任用職員として配置し、安定した相談業務ができる体制を整えます。</p>				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



自立と社会参加の促進

主管課：障害者支援課、児童発達支援センター 関連課：健康増進課、生涯学習課、スポーツ振興課、都市計画課

障害者地域生活支援事業	障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、手話等による意思疎通支援、日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、地域活動支援センター等による支援を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
障害者支援課	継続	149,829		133,384	57,825	163,560	106,426	57,134
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
委託相談員の人数(人)	4	4	5	相談支援を利用している障害者の人数(人)		2,464	2,700	3,000
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、遠隔手話通訳のためタブレットを導入しました。また、地域生活支援拠点等の中心となる基幹相談支援センターを設置し、利用者のニーズに対応できるよう相談支援体制の充実を図りました。				意思疎通支援事業や移動支援事業等において、障害特性に応じた事業の実施を目指すため、ニーズ調査や対象者の把握を行う必要があります。また、基幹相談支援センターを中心に相談支援事業所の連携強化と育成を行い、地域の体制づくりを行います。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 健康福祉部 施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていてと思う市民の割合	「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	57.3	53.6	52.8	%	↑
生活保護受給者数	社会福祉課	1,708	1,750	1,832	人	—

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮に陥る方が増え、住居確保給付金等の相談件数が前年に比べ大きく増加しました。生活の立て直しに向け、生活保護の案内も含め適切な対応に努めました。 自治会等への出前講座を実施するなど地域支え合い活動の普及を図りました。 福祉会館ガラス飛散防止対策工事、下花輪福祉会館機械室温水配管更新工事を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行い、早期の生活再生のサポートに努めます。 地域での支え合い活動の取組みや災害時の避難支援などの活動事例を紹介する機会を設けるなど、孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進します。

地域福祉の推進 主管課：社会福祉課 関連課：なし

地域支え合い活動推進事業		孤立死防止と災害時の支援のために、地域における日常からの支え合い・見守りを推進します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	6,765			6,358	1,956	6,793	2,300	4,493
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
支え合い活動対象者名簿登録者数(人)	11,057	11,853	-	地域支え合い活動協力自治会数(自治会)			117	120	123
令和2年度の取組みと評価・改善点		令和3年度の現状・課題・取組み							
地域に提供する名簿への登録について、対象者に意向を確認し、これにあわせて名簿の更新を行い、自治会、民生委員・児童委員、高齢者なんでも相談室、消防、警察、社会福祉協議会等と名簿対象者の情報共有を図りました。名簿を受領し活動する自治会に対し、協定を締結した年度及び後年度に係る活動の推進のため、報償費を支給しました。また、自治会等への出前講座を実施するなど活動の普及を図りました。 今後も、地域において支え合い活動の理解を普及するとともに、活動の継続、定着を図っていくための取組を継続していく必要があります。		自治会等からの頻度の高い質問や個人情報の取扱いについてのガイドブックを作成しており、内容の随時見直しを行いながら、出前講座等を通じて活動の普及を推進します。 地域での支え合い活動の取組や災害時の避難支援などの活動事例を紹介する機会を設けるなど、地域における孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進します。							

福祉会館整備事業		市民の健康と福祉の増進を図るため、地域福祉活動の拠点としての福祉会館の改修を行います。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	16,569			15,016	4,702	40,445	29,500	10,945
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
改修工事件数(件)	5	2	3	改修済工事件数(件)			5	2	3
				福祉会館延べ利用人数(人)			380,230	188,443	—
令和2年度の取組みと評価・改善点		令和3年度の現状・課題・取組み							
福祉会館ガラス飛散防止対策工事（流山・野々下・名都借）を実施しました。 下花輪福祉会館機械室温水配管更新工事を実施しました。		南流山福祉会館外壁改修工事 下花輪福祉会館フェンス設置及び敷地内通路整備工事 ガラス飛散防止の改修工事（西深井、南流山、平和台、下花輪）							

生活困窮者支援 主管課：社会福祉課 関連課：子ども家庭課

生活困窮者自立支援事業		生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行います。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	34,216			37,778	7,013	36,264	25,798	10,466
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
自立支援相談件数(件)	210	683	680	プラン作成件数(件)			79	229	200
住居確保給付金支給件数(件)	25	115	115						
令和2年度の取組みと評価・改善点		令和3年度の現状・課題・取組み							
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により雇用状況が変化し、減給や失業などから生活困窮に陥る方が増え、前年に比べ2.7倍の新規相談がありました。 それぞれの相談者の状況を把握し、生活の立て直しに向けた支援を行いました。		経済的な困窮だけでなく生活全般にわたる様々な問題を抱える相談者に対し、切れ目のない継続した支援を行い、早期の生活再生のサポートに努めます。							

被保護者健康管理支援事業		生活保護法に基づき、生活保護受給者へ経済的自立のみならず医療と生活の両面から支援を行います。令和2年度は、被保護者の生活習慣病等の予防や重症化を予防するため、レセプトデータを活用し、分析、健康課題を整理しました。令和3年度は、これまで作成した資料を基に、個別支援計画を策定し、対象者への保健指導、生活支援を個別に実施します。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	3,000			1,628	147,273	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
健診受診勧奨(人)	-	-	800						
令和2年度の取組みと評価・改善点		令和3年度の現状・課題・取組み							
レセプト情報を活用して、被保護者の健康課題に関する分析を事業者に委託して行いました。このことから、令和2年度の事業予定を遂行することができました。		令和2年度に分析した資料を参考に、事業対象者の抽出を行い、健診受診勧奨及び生活習慣病の改善に向けた取組みを行います。 健康課題の改善に必要な情報については、関係部局と連携して支援を行います。							

主管部局 健康福祉部 施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



生活困窮者支援 主管課: 社会福祉課 関連課: 子ども家庭課

生活保護者熱中症予防対策事業	生活保護受給者の命を守るため熱中症予防対策としてエアコン本体及び設置費を支援します。生活保護法の一部見直しにより冷房器具の設置に関する支援が可能となりましたが、対象外となった平成30年3月31日以前に保護を開始した受給者へ冷房器具設置の費用を補助します。なお、本事業は令和2年度のみ実施事業です。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	新規	5,920		4,145	154,286	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
設置(世帯数)	-	54	-					
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
生活保護法の対象外となった受給者へのエアコン本体及び設置費の支援について、根気よく申請の働きかけを行いました。その結果、取りこぼすことなく希望者へ支援をすることができました。なお、本事業は令和2年度のみ実施事業となります。				令和2年度のみ実施。				

生活保護法等に基づく扶助事業	生活保護受給者に各種扶助(生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭)を適正に実施します。また、就労支援を始めとする自立支援プログラムの充実やハローワークとの連携により、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	2,904,074		3,114,234	165,284	3,082,296	2,364,763	717,533
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
生活保護受給者数(人)	1,750	1,832	2,008	保護率(%)		9	9	10
自立支援プログラム相談回数 ※被保護者就労支援事業分(回)	155	171	190	自立支援プログラム利用後、就労に至った人数(人)		5	0	5
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
扶助費の適切な支給に努めました。また、ハローワークとの連携により自立に繋がる世帯がありました。今後も市役所に限らず、関係機関と連携をして最後のセーフティネットの役割を果たしていきます。				新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮者が増加している。地域包括支援センターや生活困窮者自立支援事業所と連携して、健康で文化的な最低限度の生活が保障されるように支援を行います。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 総合政策部 施策の目的 すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	「平等感」における「平等である」の割合（まちづくり達成度アンケート）	-	-	86.5	%	↑
外国人の人口	住民基本台帳人口	2,737	2,984	3,101	人	-

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<ul style="list-style-type: none"> 第4次男女共同参画プランの進行管理や啓発講座、女性の生き方相談等を実施しました。 在住外国人の相談窓口として国際理解サポートセンターを設置しており、その運営業務をNP0法人流山市国際交流協会に委託し、さまざまな相談を受けるとともに、当該法人の自主事業として外国語教室などを実施しました。 平和ポスター展では、より幅広く平和を考える機会とするため、沖繩戦をテーマに取り上げ、令和3年3月に市内3か所で開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度で実施できなかった事業については、状況を注視しながら実施について検討していくとともに、形を変えて実施することや感染防止対策等を徹底して実施するなど、工夫していきたいと考えています。 また、平和施策事業における、平和大使の派遣については、新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、実施の有無や実施形態、内容を検討して参ります。

人権尊重・男女共同参画の社会づくり 主管課：秘書広報課、企画政策課 関連課：なし

人権啓発活動活性化事業		法務省の人権啓発活動活性化事業の一環として、松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。また、中学生を対象とした「人権講演会」、小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて人権思想の普及啓発を図ります。								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込		R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
秘書広報課	継続	0			0		2,104	733	733	0
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
各種啓発イベントや講演会等の実施回数(回)		4	0	3	森のまちふれあいフェスの参加人数(人)			420	-	300
					森のまちふれあいフェスの来場者アンケートにおける「関心が深まった」と回答した割合(%)			93.0	-	93.0

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<ul style="list-style-type: none"> 取組み内容 新型コロナウイルス感染症の拡大により、「人権擁護委員の日」啓発活動や、例年実施している講演会等のイベントを開催することができませんでした。 評価と改善点 感染症拡大防止の観点から、各種啓発活動の実施ができなかったことはやむを得ませんが、今後は対面によらない啓発活動についても検討する必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状と課題 新型コロナウイルス感染症拡大により、各種啓発活動については、対面を前提とした実施が難しくなっています。一方で、コロナウイルス感染症に罹患した方に対する差別が発生するなど、事業の重要性は増えています。 取組み このような状況下においても、松戸人権擁護委員協議会流山部会との連携により、工夫・改善を重ねることで、人権思想の普及啓発を着実に継続します。

男女共同参画社会づくり事業		第4次男女共同参画プランに基づき、市民及び職員等の男女共同参画意識の向上を図るための各種講座を実施するとともに、様々な悩みを抱える女性を対象に自らの力で問題を解決できるよう相談業務を実施します。								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込		R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
企画政策課	継続	3,658			3,414		7,013	3,525	0	3,525
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)		21	21	18	男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)			32.1	44.2	45.0
					審議会等委員に女性委員が占める割合(執行機関を除く付属機関等)(%)			36.0	38.6	39.0

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<ul style="list-style-type: none"> 第3次男女共同参画プランにおける最終年度となる令和元年度分の評価・総括を行い、公表しました。 第4次男女共同参画プランの進行管理及び翌年度の取組の照会を行いました。 第4次男女共同参画プランに基づき、啓発講座及び女性の生き方相談等を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 第4次男女共同参画プランの進行管理及び翌年度の取組の照会を行います。 第4次男女共同参画プランに基づき、啓発講座及び女性の生き方相談等を実施します。

多文化共生社会づくり 主管課：企画政策課 関連課：なし

多文化共生推進事業		多文化共生社会の実現を目指し、在住外国人が安心して暮らせるように相談窓口を設置するとともに、多文化共生意識の醸成を図るための講座を実施します。								
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込		R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
企画政策課	継続	1,784			1,361		4,909	1,764	1,751	13
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
国際理解サポートセンターへの相談件数(件)		42	44	47	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合(%)			-	86.5	87.0
国際交流に関する講座の実施回数(回)		20	0	19						

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
<ul style="list-style-type: none"> 在住外国人の相談窓口として国際理解サポートセンターを設置しています。その運営業務をNP0法人流山市国際交流協会に委託し、感染症対策を講じた上で様々な相談を受付けました。 新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オランダ教室、外国人との接し方講座は中止としました。 今後は、コロナ禍においても多文化共生意識の醸成が図れるよう実施方法の工夫が必要と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度においても、国際理解サポートセンター運営業務を委託しています。 コロナ禍において、昨年度実施できなかった事業についても、形を変えて実施するなど、多文化共生意識の醸成を図る事業を継続して実施する必要があります。

主管部局 総合政策部 施策の目的 すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



平和施策の推進 主管課：企画政策課 関連課：なし

平和施策事業	平和都市宣言に基づき、次世代に平和への想いを繋ぐための活動として、平和大使の広島派遣、平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などの事業を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
企画政策課	継続	1,793		109	2,805	1,924	600	1,324
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
平和施策に関するホームページの閲覧数(PV)	654	635	750					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、平和大使の派遣、ユニセフ平和教室、千羽鶴募集・献納は中止しました。 中止となった平和大使の派遣事業の代替として、令和2年8月に広島・長崎平和ポスター展を実施しました。 例年行っている平和ポスター展では、より幅広く平和を考える機会とするため、沖縄戦をテーマに取り上げ、令和3年3月に市内3か所を実施しました。 				<ul style="list-style-type: none"> 若い世代に平和の大切さや想いを繋ぐことについては、継続的に取り組んでいきます。 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止した平和大使の派遣事業やユニセフ平和教室については、状況を注視しながら実施について検討していくこととします。 より幅広く平和を考える機会とするため、令和2年度の平和ポスター展では沖縄戦を取り上げたところ、開催施設や来場者より前向きな感想をいただいたため、引き続き効果のある事業となるよう努めていきます。 				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。